

生物多様性戦略推進事業費 自然環境総合モニタリング調査事業

- 【目的】
- 1 森林生態系をはじめとする自然環境について、動植物の生育・生息動向などの自然環境の変化等について総合的にモニタリング調査のうえ、必要に応じて保全対策を実施し、多様な生態系を育むみどり豊かな山形を未来に継承していく。また、調査結果等は県民に広く情報提供を行い、生物多様性の保全・創造・活用の推進に向けた意識の醸成や普及啓発、保全対策等の基礎資料とする。
 - 2 自然環境モニタリング総合検討委員会で、モニタリング調査計画や調査結果の分析、保全対策等の検討を行う。

【自然環境総合モニタリング事業体系】

【(1) 自然生態系保全モニタリング調査】

① 自然環境現況調査

調査目的 山岳森林地域や里山の自然環境をモニタリングし、異変等を早急に把握し、その原因を解明する。
調査箇所 自然環境の実態を生態系（湿原、風穴等）ごとに県内各地で調査を行う。
調査項目 生態系ごとに、植物調査、指標昆虫調査、魚類調査、小動物調査等、定量調査を含めて実施
実施体制 環境科学研究センターが関係機関や専門家等の協力を得て実施

② ブナ・ナラ豊凶調査

調査目的 森林の更新や野生動物の生息動向に大きな影響を与えるブナ・ナラ等堅果類の豊凶をモニタリングし、森林生態系の異変等を把握し、原因を解明する。また、秋季の森林環境の変化と獣類の動向を把握するため、山の実り調査を実施する。
調査箇所 県内 30 箇所に設定した調査サイトを調査。 山の実り調査：聞き取り調査、現地調査
調査項目 堅果数及びサイズ【ナラ類】、雄花及び雌花（堅果）数【ブナ】 山の実り【ブナ、ナラ、クリ等】
実施体制 環境学研究センターが関係総合支庁（森林整備課）、専門家等の協力を得て実施

③ 希少野生動植物分布調査

調査目的 絶滅危惧種等の希少野生生物（動物）について、県内分布・生息状況調査を行う。「カンムリウムスズメ、ウミスズメ、ウトウ」の繁殖状況調査を実施。
調査箇所 酒田市飛島
調査項目 平成 27 年度から引き続き繁殖状況の調査を実施
実施体制 みどり自然課で実施（外部委託）

④ 改訂版レッドデータブック掲載種選定委員会の開催

動物の分類群のうち、哺乳類、爬虫類、両生類、陸・淡水産貝類、甲殻類について、希少野生生物分布調査の結果等を参考に選定委員会において審査し、レッドリストの改定を行う。

⑤ 森林生態系保全モニタリング事業

調査目的 トウヒツヅリヒメハマキによる森林被害発生後の蔵王地域の森林生態系の推移をモニタリングするとともに、病虫害被害対策や森林更新手法の検討を行う。
調査箇所 蔵王国定公園特別保護地区など
調査項目 被害状況の把握、被害発生の予測、防除法の調査、被害林更新技術の検討
実施体制 森林研究研修センターが関係機関や専門家等の協力を得て実施

⑥ 自然環境調査基礎研修

環境科学研究センターの専門研究機関としての機能の向上、強化を図るため、職員の基礎知識や研究技術の充実を図る。

【(2) 自然環境モニタリング総合検討委員会】

○ 目的

自然環境モニタリング調査の調査方法の検討や調査結果の分析、保全対策の検討を行うため、各分野の専門家等で構成する自然環境モニタリング総合検討委員会を設置する。

○ 委員構成

森林植生、野生動物、昆虫類、水生・湿性植物などの専門家等（5名程度）

○ 開催計画

2回程度開催

○ 検討事項

自然環境、生態系等の異変の原因解明、保全対策の検討、調査に関すること、調査成果のとりまとめ指導等に関すること